

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策下における 学校図書館活動の工夫

2020年7月6日

- 新型コロナウイルス感染症予防への対策は、自治体や学校の実情によってさまざまです。学校図書館が開館しているところもあれば、閉館のところもあります。
- 閉館でも、工夫しだいで児童生徒に読書の楽しさを伝え、学習に役立つ資料や情報を提供することができます。
- ここでは、閉館の場合、少人数による利用の場合、時間を短縮して利用する場合などにできる活動の工夫をあげます。これを参考に、各校の状況に合わせて活動を行ってください。

★情報提供の方法

<形態>

- ポスターを作成する。
- チラシ、リーフレットなどの印刷物を作成する。
- パワーポイントでスライドを作成する。
- 動画を作成する。

休校中でも家庭で確認できるWebサイト、手元で見られる印刷物など、それぞれの特性に合わせて選択したり組み合わせたりして、情報提供しましょう。

<提供方法・利用方法>

- 校内・図書館内に掲示する。
- 「図書館だより」等の印刷物に記載する。
- 校内放送で流す。
- 学校図書館や学校のWebサイトに掲載する。
- 授業時に動画を流す。
- 学校図書館からの発信情報を校内サーバーに入れておく。
- ・特に思考ツールやワークシートは、教員が自由に取り出して、そのままでも、アレンジしても使えるようにしておく。

<他との連動>

- 校舎案内を学校Webサイトに掲載する時に、図書館の利用案内、館内図等を含めてもらう。
- 学校からの配布物（「学校だより」等）や市町村や地域の公共図書館等の配布物の記事で、学校図書館について触れてもらう。

★図書館への期待・利用の動機づけを高める

- 昇降口等などに、学校図書館からの「お知らせ」「メッセージ」を掲示する。
- 《メッセージの例》：「図書館はみんなを待ってるよ！」「今は閉まっているけど貸出はしてるよ！」「図書館にはこんな本があるよ」など
- 朝読書の時間や昼休みなどを使って、校内放送で朗読やブックトークを行う。
- 「図書館クイズ」を行い、回答には回収箱を利用する。
 - ・クイズは、掲示したり、図書館だよりに掲載したり、回収箱と一緒に昇降口や図書館入口等に置いておく。
 - ただし、掲示や置き場所は、児童生徒の密集を起ささないよう工夫する。
 - ・クイズは、校内放送や図書館だよりなどでフィードバックしたり、クイズ集（冊子、データベース）を作成したりする。
 - ・正解者数をクラスごとに集計して発表することもできる。

★図書館オリエンテーションを行う

- 利用案内のポスターや写真、スライド、動画を作成する。
 - ・ポスターや写真は校内に掲示する。
 - ・スライドや写真、動画は、校内放送で流したり、授業時に流したり、学校Webサイトに掲載したりする。
- 利用指導に関する「図書館クイズ」を実施する。
- 説明を短く、必要事項のみを伝えるオリエンテーションを工夫し、少人数対象、または短時間で実施する。

従来は口頭で答えさせていた場面では代わりに挙手してもらうなど、感染を防止しながらできる参加・コミュニケーションを工夫する。

 - ・オリエンテーションを図書館内で実施できたり、一定の時間を取れるときは、1、2回は参加型要素を入れるとよい。

★予約やレファレンスサービスを行う

- 予約やレファレンスを受け付けるための記入用紙・フォームを作成し、受付には回収箱を利用する。
 - ・記入用紙・フォームは、印刷して随所に置いておく。
 - ・図書館だよりにも切り取り式の記入用紙・フォームを掲載する。
- 教員からも、同様の方法で予約やレファレンスサービスを受け付ける。

★教科との連携・コミュニケーションを図る

- 図書館で授業が実施されるのはまだ先のことと思われる。これまで以上に教員とコミュニケーションをとって、現在何ができるか相談し工夫する。
- 教員等がブックトークをできるように、本とブックトークのシナリオを提供する。
- 必要とされるテーマのパスファインダーや資料リストを作成し提供する。
- 教材として適切と思われる印刷物やWeb上の動画や資料の情報を提供する。

★学習に参考となる情報を提供する

- コロナ禍に対応して設けられたWebサイトや、従来から公開されているものなど、学習に役立つWebサイトを紹介する。
 - ・自治体で作成された有用なものも多い。児童生徒向けのほか、教員向けの学習指導案データベース等。
 - ・教科担当の教員に必要なテーマやキーワードを聞いたり、教科書からテーマを抽出したりしてサイトを選定する。
 - ・自宅学習や授業に利用してもらえるサイト情報を収集する。
- 検索方法のコツを児童生徒向けに説明する資料やWebページを作成し提供する。
- 思考ツールやワークシートを作成し提供する。
- 図書館資料を基盤とした情報活用能力を育成することの必要性を保護者向けに説明する。

★本や読書に関する情報を提供する

- 昇降口等に本に関する掲示を行う。 ※接触感染の危険があるため展示は避ける。
- 「図書館だより」に本や読書に関する情報を掲載する。
- テーマ別図書リストを作成し提供する。
- 「紙上ブックトーク」を実施する。
 - 《紙上ブックトークとは?》話すようにブックトークを書いたものを、配布、掲示、校内放送などで提供する。
- 読書や本に関する「図書館クイズ」を実施する。
 - ・児童生徒や保護者からクイズを募集してもよい。
- Web上の図書リストや書評サイト等を紹介する。

学習・読書支援に役立つWebサイト

2020年7月6日

- 学校図書館が参考にしたたり、教職員や児童生徒に提供するのに役立つと思われる学習・読書支援のWebサイトを集めました。このほか自治体や各学校等で作成しているサイトが多くあります。
- 地元地域の情報は、地元の機関が作成しているサイトが充実しています。「地名 学習支援」などのキーワードで有用な情報を探してみてください。
- 『読書・学習支援コンテンツ構築及び利活用に関する調査研究』(国立国会図書館国際子ども図書館 2019)も、ご参照ください。<https://dl.ndl.go.jp/info:ndljp/pid/11334848>【国立国会図書館WEBサイト 国立国会図書館デジタルコレクション 内】

★国が作成する、学習や読書の情報まとめサイト

- 文部科学省 「子供の学び応援サイト`臨時休業期間における学習支援コンテンツポータルサイト`」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/index_00001.htm
小・中・高・特別支援・幼児教育の教科等に役立つ資料やリンク集、オンライン学習用のコンテンツやリンク集などのまとめ。
- 文部科学省 「子ども読書の情報館」
<https://www.kodomodokusyo.go.jp/>
おすすめの本、読書に関するアドバイス、全国の実践事例、文部科学省発表データなど。
- 文部科学省 「子供の読書キャンペーン～きみの一冊をさがそう～」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00480.html
著名人おすすめの本や、各種団体の読書関連ページリンク集。
- 文部科学省 「外国につながる子供向けの教材が知りたい！」
https://www.mext.go.jp/a_menu/ikusei/gakusyushien/mext_00663.html
独立行政法人国際交流基金が作成した、日本語学習のための教材やe-ラーニングサイト、愛知教育大学「外国人児童生徒支援リソースルーム」が開発した教材など。
- 文部科学省 「かすたねっと」
<https://casta-net.mext.go.jp/>
外国につながる児童・生徒の学習を支援する情報検索サイト。多言語対応の教材検索、用語検索等ができる。
- 経済産業省 「新型コロナ感染症による学校休業対策『#学びを止めない未来の教室』」
https://www.learning-innovation.go.jp/covid_19/
各企業・団体が新型コロナによる休業対策で提供する個人・学校向けEdTechサービスのまとめ。導入事例や関連ニュースも。
- 国立特別支援教育総合研究所 「特別支援教育教材ポータルサイト」
<http://kyozai.nise.go.jp/>
特別支援教育の教材や支援機器、学校での実践事例の紹介など。

★自治体が作成する、学習や読書の情報まとめサイト

- 大阪府教育庁 「小中学生に向けた家庭学習教材等について」
<http://www.pref.osaka.lg.jp/shochugakko/gakunennbetukatei/index.html>
 「楽しく体を動かすことができる体操・ダンス（外部サイト）」、「歌って、話して、楽しく学べる英語学習動画（外部サイト）」、「授業動画」、「学年別家庭学習プリント及びテスト教材一覧」など。
- 大阪府教育センター 「学習支援のページ」
<http://wwwc.osaka-c.ed.jp/category/forteacher/child.html>
 「動画配信のページ」(家庭学習教材等の解説、ダンス教材、教員向け動画作成のためのページなど)、「大阪府教育センターのコンテンツ」(こどものためのページ、算数・数学教材ソフト) など。

★キッズページのリンク集、子ども向けポータルサイト

- 政府広報オンライン 「キッズページリンク集」
<https://www.gov-online.go.jp/kids/>
 各府省が作っているキッズページへのリンク集。
- 国立国会図書館国際子ども図書館 「キッズページリンク集」
<https://www.kodomo.go.jp/info/kids/institution.html>
 公共図書館、国の機関、美術館・博物館などが作っているキッズページへのリンク集
- Yahoo!きっず
<https://kids.yahoo.co.jp/>
 子ども向けポータルサイト(「学習」「図鑑」「特集」など)
- 学研キッズネット
<https://kids.gakken.co.jp/>
 小・中学生向けポータルサイト(「自由研究」「科学」「未来の仕事」など)

★本の情報やリスト、読書活動に使えるサービス

- 全国学校図書館協議会 「ご家庭で過ごす児童生徒の皆さんと、その保護者の方へ」
<https://www.j-sla.or.jp/post-195.html>
 全国SLAが選定している図書や、コンクールの課題・指定図書、受賞作のリスト。
- 科学道100冊
<https://kagakudo100.jp/>
 理化学研究所と編集工学研究所によるプロジェクト「科学道100冊」のサイト。100冊ラインナップの紹介のほか、科学者のおすすめ本・インタビューなど。
- 青空文庫
<https://www.aozora.gr.jp/>
 著作権の消滅した作品と、「自由に読んでもらってかまわない」とされた作品を電子本の形で提供しているサイト。2020年7月1日現在、収録作品数16052点。

新書マップ

<http://shinshomap.info/>

連想検索機能を活用して、あるテーマに関連した新書・選書を探し出す検索システム。

絵本ナビ

<https://www.ehonnavi.net/>

絵本・児童書のためし読みや、年齢・テーマ別等の作品紹介などを提供する情報サイト。レビュー投稿、購入もできる。

読書メーター

<https://bookmeter.com/>

読んだ本を登録することで読んだ冊数やページ数がグラフ化されたり、感想を投稿・閲覧したりできるサービス。

ブクログ

<https://booklog.jp/>

お気に入りの本をWEB上の本棚に集めたり、感想の投稿・閲覧、読書管理・記録ができるサービス。

★授業支援・学習に役立つサイト

NHK for School

<http://www.nhk.or.jp/school/>

保育園・幼稚園から高校までの多様なテーマ・教科の教育番組を配信している。

「先生のための授業に役立つ学校図書館活用データベース」

<http://www.u-gakugei.ac.jp/~schoolib/htdocs/>

「学校図書館活用データベース」「授業と学校図書館」「読書・情報リテラシー」「学校図書館の日常」「テーマ別ブックリスト」等。東京学芸大学の運営。

日本教育新聞 「休業中の学習支援サービス まとめ」

<https://www.kyoiku-press.com/post-213719/>

各企業・団体が新型コロナウイルスによる休業対策で提供する学習支援サービスのまとめ。

公募ガイド

<https://www.koubo.co.jp/>

年代、テーマを問わずさまざまなコンテスト情報。「親子で作ろう！書こう！」など。

★学校図書館運営に役立つサイト

カーリル

<https://calil.jp/>

図書館蔵書検索サイト。「話題の本」「本のレシピ」など。学校図書館向けのシステム連携サービス「カーリルスポット」(インターネットに公開していないOPACとの連携機能)が無料で利用できる。また、現在は新型コロナウイルス対策で、学校図書館を支援するため、WEB上の蔵書検索システムを無償提供中。

<https://blog.calil.jp/2020/04/negima.html>